



## パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年2月10日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15年度会長: 小林昭次)  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



### 第568回例会 2月10日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 鈴木和行 ●点鐘: 小林昭次
- ゲスト: 浜松市長 鈴木康友様、米山記念奨学生 暢婉君さん
- 議事: 青少年育成委員会  
「光産業創生大学院大学での学びと青少年育成」

<出席報告> 本日出席率60名 75% 前々回出席率86, 25%



### ■会長挨拶

小林会長:

皆さんおはようございます。康友市長、お帰りなさい。ごゆっくりお過ごしください。

毎日寒い日が続いています。本当に寒かったですね。思い切りが悪くてなかなか布団から離れられません。布団がぬくぬくしていて気持ちがいいものですから。

布団といえば、今日は2月10日で布団(210)の日だそうです。こういう寒い時に2月10日を布団の日を選んで人には座布団を1枚あげたいなあという心境でございます。それぞれの日にそれぞれの制定された日があるのですが、時々チェックしてみると面白いものがあるなあというふうに感じます。今日は短くしろという事ですので、これで終りたいと思います。

寒いので風邪など引かぬようご注意ください。それから21日に皆さんのお手伝いをお願いしたいと思います。以上です。

### ■幹事報告

末広幹事:

メールボックスへの配布物はガバナー月信 2月号と皆様の確定申告に必要なご寄付を頂いているものの領収書が2部入っています。

来週金曜日と土曜日で夢計画が実施されます。金曜日は準備になります。両方共メイキャップの対象になっています。皆様のご協力をお願いします。現在30名の申し込みを頂いています。定員は50名です。まだお席のほう为空いていますのでPRの方をよろしくお願いします。夢計画がありますので来週の例会はありません。

再来週はIMになっています。グランドホテルです。皆様のご出席をお願いします。

本日は例会の後、理事会が有ります。

### ■委員会報告

親睦委員会 小田木会員: 2月はお誕生日の方が多いので、本日7名だけハッピーバースデーをおこないます。

ロータリー財団委員会 田淵委員: 来週2/20, 2/21に夢プロジェクトを開催します。皆様よろしく願いいたします。

会員増強維持委員会 牛田会員: 新入会員のオリエンテーションがあります。昨年卓話でお越しいただいた高部光司さん、2/16にオリエンテーション、3/3に入会式が有ります。

### ■スマイル

熊谷真一会員:

武田さん、卓話どうもありがとうございました。パリより愛をこめて。

奥山恵理子会員:

2月7日(土)に「コミュニティカフェ・ひだまり」が、中区佐鳴台にあるデイサービス「佐鳴台倶楽部」の休業日を会場としてオープンしました。高齢化社会の大きな課題解決のために厚労省が提案している活動です。県西部には開設されておりませんので、民間の小さなボランティアの力ですがスタートしました。「認知症対策としてのしくみ」のみならず、「地域力向上のためのコミュニティづくり」をめざしています。

毎週土曜日、午前中のみのお店の開店ですが「本物の味を準備しております」

お茶を飲みながら、社会づくりのお手伝いをお願い致します。



**鈴木康友市長:**

久しぶりにこの例会に来ました。今朝は今の地方自治体がどのような状況かをお話させていただきます。

昨年元岩手県知事の増田さんが衝撃的なレポートをいただきました。2040 年までに 896 の自治体で 20 歳から 39 歳の出産適齢期の若い女性が半分以下になる。したがって人口が激減して消滅自治体が多くでる、という話です。

浜松市は合併したことで伊豆半島より大きな都市になり、消滅可能都市を内部に抱え込みました。浜松市にとっては、インフラの問題がこれからの大きな課題になります。これに対応するため、平成 20 年に資産経営課を設置しまして、公共経営改革を推し進め、第 6 回のファシリティマネジメントの最優秀賞をもらいました。今までの自治体は現金出納しかチェックを行っていませんでした。現金の出し入れしか把握していませんでした。しかし浜松市は公共経営改革により、民間並みの発生主義、時価主義の資産経営ができるようになりました。

昨年、増田レポートに端を発した大きな取り組みは、自治体の転換点になりました。人口減や、経済が大きな成長を望めなくなった今、自治体も発想の大転換を図らねばならなくなりました。私は市長就任以来行財政改革を計画的に推進してきました、昨年度も借金を 5000 億円以内にするという目標達成が出来ました。国際的格付けのムーディーズから A1 の格付けをもらいました。これは福岡と浜松だけ、日本で一番です。これからは市長も経営感覚がなければダメです。

浜松市は産業都市です。浜松市にとって産業が一番大切です。産学官金の提携のもとで産業政策に取り組んでおります。



大学の目的は、光と生命体、物質、情報等とのかわりに関する学理と知見を基礎に置きつつ、光の発生、変換・制御、利用に関する最先端技術を駆使し、光の各種機能を連携・融合、さらにそれらの技術と経営の融合に関する研究開発を教授研究し、その深奥をきわめ、新産業創成を自ら実践しうる人材養成を行うことです。

コースは起業実践コースと新事業開発コースが有り、各学年の生徒数は 10 名です。カリキュラムには、先端光産業経営分野、光医療・健康分野、光バイオ分野、光加工・プロセス分野、光エネルギー分野、光情報・システム分野があります。光エネルギー分野では核融合の研究を行っています。私は D-Laser コーポレーションという会社を起こしました。

ところで、光ってなんでしょう。ひかりは電磁波です。光は自分一人では何もできません。宇宙は暗いですが、光は暗い宇宙空間を真っ直ぐ飛んできます。そして光が他の物質に出会うと何かが始まります。光は一秒間に地球を 7 周半します

レーザーは光の一つの帯域を増幅させてものを加工します。一つの波長の波が混ざり合い、一つの焦点に集まることでものすごく大きな力となり加工がしやすくなります。リモート溶接は通常のスポット溶接の 3 倍から 4 倍くらいの力になり、軍事にも使われています。緑色の波長が地雷除去の軍事に使われています。

私はレーザーピーニングという技術を研究しました。ロボット溶接の研究もしています。またレーザーですね肉などをやわらかくする装置「レーザーレンジ」を開発しました。世界初の機械です。肉の筋だけをレーザーで柔らかくします。和牛すね肉の筋のコラーゲンがゼラチンになります。安い肉が高級牛肉になります。ウナギも固い皮にレーザー光を広く当てると、パリパリに焼き上げられたようになり、国産うなぎに化けます。キウイも外から光を当てると、黒い種が光を吸収して柔らかくなり、気にならなくなります。

光産業大学に入って 4 年間で光がわかるようになりました。また、色々な補助金や賞をもらい、何度もマスコミに取り上げられました。

エレクトロニクスがメカトロニクスになって、今からはフォトニクスの時代です。フォトニクスを使うと色々なものがかわります。作り方や商品が変わります。



**■ 議事**

**青少年育成委員会:**

**「光産業創生大学院大学での学びと青少年育成」**

**武田委員:**

光産業創生大学院大学は浜松フォトニクスの晝馬輝夫会長が作られた大学で、文科省から正式に認可された博士号が出せる大学です。